

五連

(福井駅前五商店街連合活性化協議会)

福井県福井市

インバウンド

地域課題対応

若手・女性

生産性向上

ポイント

福井駅前の5つの商店街が福井駅前五商店街連合活性化協議会を設立。リノベーションや商店街の枠を超えた連携によりまちづくりを推進。

基本データ

所在地	福井県福井市中央
人口	約27万人(福井市)
電話	0776-25-3875
URL	http://fukui-ekimae-st.com/
会員数	145名
店舗数	155店舗(小売業78店、飲食業20店、サービス業30店、金融業2店、不動産業4店、医療サービス業3店、その他18店)
商店街の類型	広域型商店街
主な客層	学生・若者、家族連れ(親子)/20歳代、30歳代

商店街概要

福井駅前五商店街連合活性化協議会がある福井市中心市街地は、安土桃山時代末期からの歴史を有し、JR福井駅を中心として、商業、居住の面で独自の文化や伝統を育んできた。

大型商業店舗の進出による郊外化の影響に対応して、まちなかの活性化を一体的に進め中心市街地の価値を向上するため、平成11年に周辺の5つの商店街が福井駅前五商店街連合活性化協議会を設立。平成28年4月にはJR福井駅西口に再開発ビルが開業し、現在は商店街だけでなく福井駅周辺の商業施設や専門店などと連携した活性化策に取り組んでいる。

今後、福井国体の開催や北陸新幹線の県内延伸を控え、民間投資が活発化するなど賑わいの向上や来街者の増加が期待される。

取組の背景

郊外化による中心市街地の衰退を受けて

JR福井駅を中心として、路線バスや路面電車などの公共交通機関が結節し、周辺に行政機関や事業所が集積している福井市中心市街地。しかし郊外での大型商業施設の開業が続くにつれ、中心市街地での大型店の閉店、歩行者通行量の減少など、地域は徐々に衰退していった。さらに、福井駅西口再開発の計画変更などがあり、福井駅周辺では整備工事が長期間継続することとなった。

このような中で、五連は中心市街地の価値を向上させるため、平成20年から各種の活性化事業に積極的に取り組んできた。平成25年には地権者団体や地元NPO団体とともに中央1丁目活性化研究会を設立し、リノベーション事業を柱に街区を再生し、民間投資が継続する街、若者が創業しやすい都市を目指して活動を進めていくこととした。

取組の内容

共同販売促進事業とリノベーション事業

まず、五連はエリア内の大型店を交えた販売促進会議を実施し、店舗間の情報共有を始めた。また、ホームページでの情報発信、駅前感謝デーやイルミネーション、婚活イベントの開催、中心市街地のまちづくり会社であるまちづくり福井株式会社との連携によるバルやまちゼミの実施にも取り組み、賑わ

いの創出を行った。



駅前感謝デーの様子

平成26年6月には、中心市街地の新規プロジェクトとして、若手経営者有志と「美のまちプロジェクト」を始動。これは、織田信長の妹で戦国一の美女と言われたお市の方が、茶々、初、江の3人の娘とともに当地にあった北之庄城に住んでいたことに由来する取組であり、「美」関連の店舗の集積を図るものである。空き店舗の活用について、福井市の家賃補助と組み合わせることでPRしたことにより、エステやリラクゼーションなど11店舗が平成27年3月に一斉にオープンした。

現在は、五連、美のまちプロジェクト、まちづくり会社、百貨店、福井駅周辺の商業施設による一般社団法人「EKIMAE MALL(エキマエモール)」が発足しており、JR福井駅周辺のエリア全体での共同販売促進活動を実施している。

また、福井市中心市街地では、平成27年度から市やまちづくり会社の協働によるリノベーションスクールが開催されており、五連としてもリノベーシ

ヨンの取組を積極的に進めている。

空き店舗を活用したリノベーションでは、そこにまちの新たなコンテンツを担う新規テナントを誘致し、これを一定エリア内で展開することにより、「空き店舗の解消」「まちとコミュニティの再生」「新規雇用の創出」につながる。この取組をきっかけに、新規開業とリノベーションなどを実施する新たなまちづくり会社も設立された。

さらに、中央1丁目活性化研究会の関係機関への働きかけの結果、大通りから百貨店まで続く動線の確保なども進められた。

平成30年の福井国体の開催や北陸新幹線の県内延伸を控え、さらなる中心市街地の活性化が見込まれている。



リノベーションスクールの様子

取組の成果

新規開業の増加と駅前への注目

「美のまちプロジェクト」の取組により、これまでに25店舗の「美」関連の新規開業者と50名を超える新規雇用が創出された。

また、福井市中心市街地でのリノベーションスクールの開催や、五連が進めるリノベーション事業により、これまでに7店舗の新規開業と家守会社と呼ばれる空き店舗のリノベーションを行う新規事業者2社が創出された。

いずれもまちやコミュニティの再生を図る取組で

あると同時に、空き店舗の解消、新規雇用の創出という成果につながっている。さらに、UターンやIターンの若手や女性の活躍が目立っているのが特徴で、若者の地元での就業支援にもなっている。

また、一般社団法人「EKIMAE MALL」についても、ハロウィーン仮装イベントなどの実施やフリーペーパー「EKIMAEMALL PRESS」の発行、ホームページによる情報発信など、その活動が目目されるようになってきた。



「EKIMAE MALL」が発行しているフリーペーパー「EKIMAEMALL PRESS」

実施体制

五連は、一度は疲弊した中心市街地を活性化するため、イベントによる賑わい創出、安心・安全なまちづくり、リノベーションによる空き店舗解消など、一時的ではない根本的な解決を目指した取組により効果を上げてきた。

今後、まちづくり会社などと連携し、販売促進活動やイベントなどの開催、リノベーションによるまちづくりを進めていく。

また、一般社団法人「EKIMAE MALL」の一員として、共同販売促進活動も推進していく。さらに、飲食店舗組織やファッション店舗組織、美容店舗組織などの同業種組織がそれぞれ連携した活動を始めており、五連はそれら「商店街」の枠を超えて中心市街地の魅力を発信する活動を様々な面から支えていく。

キーパーソンからのコメント



福井駅前五商店街連合
活性化協議会
会長 加藤 幹夫

若者のチャレンジを応援！

福井駅前五商店街連合活性化協議会はこれまでイベントや販売促進活動、パイロットショップの運営、情報発信などに取り組んできました。

現在は、再開発に比べて比較的短時間でまちを変えられるリノベーション事業を進めています。これは経費の面からも若者の参画が期待できます。

人が集まることで活力が生まれ、地域の元気につながります。

福井駅前には若者の起業を応援する街でありたい。そのための支援を続けていきます。

一般社団法人「EKIMAE MALL」で全体を活性化

「美のまちプロジェクト」から始まった若手経営者有志との福井駅前での活動は、今では一般社団法人「EKIMAE MALL」として中心市街地の主な商業施設を含めた団体となり、共同販売促進により相乗効果が生まれています。

平成28年4月には福井駅西口の再開発ビルが開業し、今後、福井国体や北陸新幹線の県内延伸も控えています。中心市街地全体の魅力を広く認知してもらうため、一般社団法人「EKIMAE MALL」としての共同販売促進活動をこれからも進めていきます。